

情報公開用文書

令和8年6月15日

実施内容	胃瘻カテーテル交換における胃内留置のインジゴカルミンによる確認
対象患者	胃瘻カテーテルを交換する患者
実施期間	承認日から継続的に使用
概要	【目的・意義】 胃瘻カテーテルの交換の際には、先端が腹腔内に挿入される事により胃内に到達しない事があります。交換時においては稀ですが、避ける事の出来ない偶発症です。この状態で栄養剤を注入すると腹膜炎を発生させるため、カテーテル交換後は先端の胃内挿入をしっかりと確認する必要があります。確認には、内視鏡やレントゲンを使う確認法などがありますが、間接確認法のひとつであるインジゴカルミンを使ったスカイブルー法は、負担が少なく、確実かつ安全に確認できる方法だと考えられます。 厚生労働科学研究費助成金長寿科学総合研究事業からの胃瘻カテーテル交換における胃内留置の確認に関する研究においてスカイブルー法の有用性が報告されています。 また、日本医療安全調査機構からの警鐘事例において、スカイブルー法は胃内容物の吸引や送気音の聴取による確認よりも確実な方法として推奨されています。 【予想される不利益と対策】 一般的には安全であり、不利益は少ないと考えられます。胃瘻カテーテル交換の診察で、自覚症状や他覚症状を確認します。
当院の倫理委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意できないと連絡をいただいた場合においても、添付文書の定める範囲内での使用では安全に医療を提供できないと担当医が判断したとき、再度ご説明させていただくことがあります。	
お問い合わせ先の連絡先：医療法人厚生会 奈良厚生会病院（倫理委員会） 電話番号：0743-56-5678（代表）または、担当医に直接お申し出ください。	